

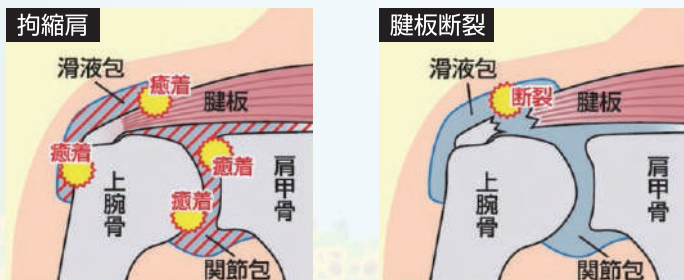
専門医が解説する肩の痛みについて

第4回

けんぼんだんれつ
腱板断裂の治療について

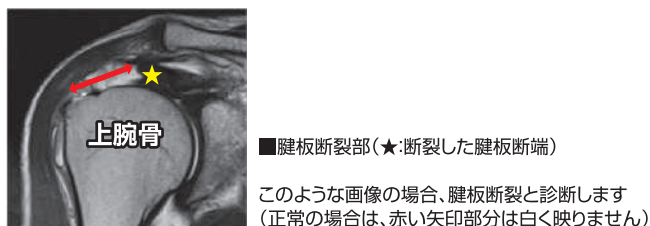
肩関節の疼痛を主訴に外来に受診される中高年の患者さんの疾患は、拘縮肩(いわゆる五十肩)と腱板断裂が多くを占めます。両疾患とも肩の痛みが出現し、腕が挙がらなくなります。拘縮肩のほとんどはリハビリなどの保存療法で改善しますが、腱板断裂は手術療法が必要になることがあるため、正確な診断が必要となります。今回は腱板断裂について解説します。

けんぼんだんれつ
腱板断裂が起こる部位と原因



腱板は肩の奥にある肩甲骨から起始した筋肉が腕の骨に付着する部位のことです。棘上筋・棘下筋・肩甲下筋・小円筋の4つの筋から構成されており、最も断裂を起こす頻度が高い部位は棘上筋です。断裂の大きさや断裂形態は各断裂によって違います。

腱板断裂の原因は、転倒などを契機に断裂する外傷性断裂と、加齢により徐々にすり減って断裂を起こす変性断裂があります。変性断裂の場合は誘因なく疼痛が出現するため、自己判断で五十肩(拘縮肩)と置いて放置されることがあります。一度断裂した腱板は、その後自然に修復されることはありません。徐々に断裂が拡大することが知られているため、疼痛が出現した際にはMRI検査を受けて断裂の有無、また断裂形態の確認を勧めています。



手術療法を勧めるのは

仕事やスポーツで肩をよく使用する方は、断裂が小さくても今後断裂が拡大する可能性が高いため手術を勧めています。断裂があっても疼痛が軽度であり、生活に支障がなければ鎮痛剤を使用して経過を診ていきます。疼痛が強く、生活に支障がある場合は肩関節に注射し、断裂による炎症を軽減させ、また同時に肩関

節の機能改善のためリハビリを行います。しかしこのような保存治療に抵抗し疼痛が遷延すれば手術療法を選択することがあります。

近年行われるようになった手術

近年は関節鏡を用いた鏡視下腱板修復術が主流となっていますが、専門性の高い手術のため手術可能な施設は限られています。また新しい手術方法として、リバース型人工肩関節置換術があります。この治療方法は2014年に日本で認可された治療方法です。腱板断裂が広範囲にわたり修復が困難な場合に適応となります。腱板断裂に対する最終手段と考えられていますが、適応基準、また実施する医師に厳しい基準がありますので、適応については肩関節専門医の診察を受けて下さい。



■鏡視下腱板修復術



■リバース型人工肩関節置換術

最後に

各治療方法には利点欠点があり、またリハビリが大切となります。主治医や理学療法士のサポートのもと治療・リハビリに取り組まなければいけません。お近くの専門医によくご相談の上、治療を進めてください。

梶田幸宏医師の外来診察日 毎週月・水曜日

※休診になる場合があります。ご来院前に、ホームページなどでご確認ください。

一宮西病院 整形外科 部長

かじ た ゆき ひろ

梶田 幸宏

日本整形外科学会 整形外科専門医



一宮西病院

理念 街と人が明るく健康でいられますように

基本方針 24時間365日、いつでもどんな怪我や病気も断らない最新の設備と高度な医療技術の提供
 患者さま中心のきめ細かい医療サービスの実践

- 内科 ■消化器内科 ■血液内科 ■循環器内科 ■呼吸器内科 ■脳神経内科 ■内分泌・糖尿病内科 ■リウマチ科 ■外科 ■消化器外科
- 乳腺・内分泌外科 ■心臓血管外科 ■呼吸器外科 ■脳神経外科 ■整形外科 ■形成外科 ■眼科 ■耳鼻咽喉科 ■頭頸部外科 ■肛門外科
- 小児科 ■産婦人科 ■皮膚科 ■泌尿器科 ■リハビリテーション科 ■放射線診断科 ■放射線治療科 ■臨床検査科 ■病理診断科 ■救急科

〒494-0001 愛知県一宮市開明字平1番地
 TEL.0586-48-0077(代)

Facebook
 公式Facebookはこちらから▶



無料平面駐車場完備

あなたの笑顔が患者さまの笑顔に
ボランティア募集!
 TEL.0586-48-0077(代表電話)

〈活動内容〉総合案内まわりで患者さんのご案内やお手伝い、お話し相手など
 (対象者)20歳以上で心身ともに健康な方
 (活動日)月曜～土曜 午前8:30～12:00 ※ご希望の曜日・時間をお知らせください
 ◎お問い合わせ/一宮西病院患者さま相談室 [担当]二井・ニーシャム 受付/平日13:00～17:00